



Vol.24~~2013.04

皆さん、こんにちは、新メルマガ委員の宮森です。新年度が始まってまだ新しい環境に慣れていない方もそうでない方もいらっしゃると思いますが、また今年度も頑張ってください！では今回は冬 PW と春合宿の感想をお届けします。

== Index =====

- 冬 PW ～雪と戯れるワンゲラー～
- 春合宿
 - 沖縄チャリ ～快晴、快適、快走～
 - 24 時間ロード ～ロードマスター誕生～
 - 無人島 ～こんがり焼けました～
 - 農場 ～牛と人とふれあって～
- 新入生獲得に向けて
- アンケート

2013/02/16-17

冬 PW

～雪と戯れるワンゲラー～

今冬の比良は例年以上の積雪だったようです。腰まで埋もれながらラッセルしたり、巨大な雪庇を見たりと、普段のワンゲル活動ではできない体験をすることができましたし、OB さん方とも楽しく交流することができました。また、先輩後輩関係なく雪と無邪気に戯れる姿がとても印象的でした。

(文責：武藤)

ラッセルが大変でした。けど僕の持前の体力を生かして、サイコーのラッセルできたと自負しています。ラッセラーできたと思います。ラッセラー大塚の誕生です。M 藤君が新雪を僕にぶつけてきたせいで、僕はスキー場でこけました。M 藤君は非道、極悪な人間です。けど、僕はそんな武藤君が大好きです笑 今回の冬 PW で武藤君の人間性を再確認できました！

(57期 文2 大塚駿)

今回は初めての冬 PW 参加となりました。去年参加しなかったのは、いつも登っている比良に何故行くのかという思いからでした。しかし、勧められて登ってみると、雪に覆われた比良は、いつも慣れ親しんだそれとは全く別物で圧巻でした。



始めは目の前に広がる銀世界ばかりに気を取られていましたが、イブルキノコバ辺りで初めて自分が今立っている雪の深さを実感し、普段の道がある深さに改めて驚きました。また、細川-武奈間では雪は木の枝の高さまで積もっており、普段その尾根を下る自分たちを見下ろして歩いているような不思議な感覚さえ覚えました。

驚いたことを挙げるとキリがありませんが、ラッセルや冬用装備、巨大雪庇など貴重な体験と共に比良の魅力を再発見することができました。

(56期 工3 平井皓基)

春合宿

今回の春合宿では沖縄チャリ、無人島、24h ロード、農場体験の4つの合宿を行いました。沖縄に行ったチャリ組と無人島組は天候にも恵まれ3月にして暑いほどだったようです。24hロードも天候に恵まれ、なんとか歩ききることができました。農場も島根県の農場で乳牛の世話など普段できない体験をしたようです。

(文責：宮森)

●沖縄チャリ ～快晴、快適、快走～

行程は7泊で、那覇から南を回り、名護を経て最北端の辺戸岬まで往復し、本部で終わるというものでした。史跡巡りの趣味は僕にはあまりなかったのですが、首里城をはじめとする様々な城（グスク）を巡るのは新鮮で楽しかったです。天気にも恵まれ、全日快適に走行することができました。本当に素晴らしい合宿でした。

(56期 工3 出口亮)



暑い、熱い沖縄合宿でした。ワングルに入る前の自分なら、沖縄を自転車で縦断するなんて考えもしなかったでしょう。沖縄に点在する世界遺産をめぐり、沖縄そばを食べまくりました。沖縄の食べ物はとても魅力的で、チャンプルー、紅イモソフト、サーターアンダギー・・・いろいろ食べました。沖縄に行ったことのない人は是非行ってほしいと思います。ワングルでも積極的に企画して、行きたいところであると思います。

(56期 経3 増井慎一)

●24時間ロード ～ロードマスター誕生～

「なぜ歩くのか？」ロードマスター（自称）となった今答えは決まっている。「そこに道があるからだ。」今回の24hロードは神奈川県三浦半島を一周することであった。スタートは横須賀。ゴールは鎌倉。足は軽い。海は穏やか。気持も穏やかだ。(10h/24h)日が暮れた。岬は近い。灯台の明かりに吸い込まれるように。足には軽い疲労感。(12h/24h)暗闇に浮かぶファミリーマートの文字に安堵を覚える。後は戻るだけだ。精神に異常の兆し



あり。(13h/24h)睡魔は意外に襲ってはこなかった。あたりは静寂。話し声が途絶える。(16h/24h)夜明け。やはり太陽は美しい。(18h/24h)ミスコース。「嘘だろ？」誰もがそう思った。「24hに近づいた、やったぜ。」と思うやつは誰もいない。

(22h/24h)感動的なフィナーレというものはロードには存在しない。眠い、誰もがそう思った。(24h/24h)

(57期 理2 堀部和也)

●無人島 ～こんがり焼けました～

無人島、それはロマンの塊。日焼け、それは全身の苦痛。人生初の無人島は、57期の脅威の晴れパワーで見事快晴の中行われた。河相さんの釣り技術が冴え渡り、堀さんのお好み焼きが光る。平井さんは何故か無人島が似合い、堀部は砂に埋もれた。金田は安定のフェイス。市川さんと笹原さんは、夜の戦いに勤しんだ。そんな無人島合宿は全身の日焼けの中、満天の星空の下で思い出となった。

(57期 理2 丸山大貴)

今年も無人島はずっと晴れました。無人島で何をするか。それは各自の自由でした。皆、したいことをそれぞれ抱えて上陸しました。沖縄は昼夜を問わず毎日暑いのですが、釣りや島の探索などそれぞれおもしろい活動に勤しみながら、また普段よりもゆっくりす



ぎていく時間を感じながら、非日常を楽しんでいました。無人島の夜空は広大でネオンの光などが届かないため、肉眼で確認できる星は素晴らしく多く、そのきらめきはいつもより明るいのです。とても綺麗でした。最終日。久々のお風呂に入ったとき、太陽に焼かれた赤黒い背中が痛みました。無人島から帰ってきたのだなと感じ、また来年も行きたいなと思いました。

(56期 工3 堀裕貴)

●農場 ～牛と人とふれあって～

先輩たちの話を聞き、昔から農場Wに参加してみたいと思っていました。ファームステイ先が島根の牧場に決まったのは半ば偶然みたいなものでしたが、終わった後では、この牧場に体験に行けて本当に良かったと思っています。

体験先の牧場主である福間さんはとても気さくな人で話しやすく、牛の事について詳しく解説してくださりました。日本で農業に従事することの大変さ、人とのつながりの大切さ、また相手は「モノ」ではなく「生き物」であるという当たり前ながら大切な心構えなどを勉強させて頂きました。またこれも非常に当たり前のことなのですが、体験する中で一番衝撃的だったのが、牛にも個性があるということでした。気難しいやつや、人懐っこいやつ、臆病なやつなど、世話をする中でたくさんの牛とふれあいながら、多種多様な牛

たちのふるまいに驚きました。普段食卓に並ぶものは、いわば没個性的なただの「肉」であるので、何も考えなければ背景には様々な牛がいることには気付きません。体験が終わり家に帰って牛肉が夕食のメニューに出たときは少し複雑でしたが、福間さんは牛に感謝しながら、牛で食べていく仕事が自分の天職であるとおっしゃっており、仕事に対する思いの深さに感服しました。



また、偶然にも地域の住人の交流会に参加する機会があり、その土地の人々とお話させていただきました。そこには、自然の学校に「留学する」という制度があり、日本中の小中学生たちが親元を離れ、その学校に通いながら自然の中での生活を堪能したり、農業に就業体験したりするなど、ぬくぬくとした子供時代を過ごした僕には到底考えられないような、たくましい子供たちがいました。そのような制度があること自体知らなかったの、礼儀正しく活発なその子たちと自分を比べて、少し情けないような気分になりました。

島根の牧場には、想像とは少し違いましたが、とても有意義な農場就業体験が待っていました。大袈裟かもしれませんが、福間さんの仕事に対する思いを聞いて、自分の将来の目標などが少し見えてきた気がします。また、福間牧場に行きたいです。

(56期 工3 松尾勇汰)

気づけばもう4月——新しい1年の始まりですね。この季節の一大行事といえは？そう、新入部員の獲得です！ワングルの運命を左右する大事なイベントです。気合が入らない訳がありません。現役部員一丸となって、少しでもワングルに興味を持ってもらえるよう、様々な策を講じました。まずは、ホームページをリニューアル。斬新なデザインのページに生まれ変わりました。さらに、ブログも開始。部員のいきいきとした声を届けています。

また、57期が中心となり、4月の始めには4日間で1200枚ほどのビラを配りました。ちなみに、今年のビラのデザインはこんな感じです



サークルオリエンテーション当日は、運悪く“春の嵐”が襲来。雨や風と戦いながらの宣伝活動となりました。しかし、我らがワングル部がああ程度の嵐に負けるわけがありません。ブースにV8テントを設置。地道に勧誘を行いました。その結果、他の部のブースには雨でなかなか新入生が集まらない中、ワングルのテントには予想以上の人が話を聞きに来てくれました！女の子もちらほら来てくれました。さて、メッチェン絶滅の危機は回避されるのでしょうか！？今後が楽しみです。

前回のアンケートではメッチェンにお勧めの山を募集しましたが、九重山、霧島山、白山などの回答をいただきました。体力的にそれほど辛いことや、お花畑が見られることなどがおすすめ理由として挙がっていました。そして、重要なポイントは、やはり施設（特にトイレ）の清潔さにありますね！頂いた回答も参考にして、メッチェンにも楽しんでもらえるよう意識して合宿を企画していかなければなりませんね。

新入生が入ってくるということは、いよいよ僕たち57期が先輩の立場になるということです。それに向けて、ゴールデンウィークにはL養Ⅱが行われます。身の引き締まる思いです。つらい合宿になるかと思いますが、後輩に情けない姿を見せるわけにはいかないので、精一杯頑張りたいと思います。

そこで、今回のアンケートは「今までで一番つらかった合宿は？」にしたいと思います。

ワングル活動はもちろん楽しい合宿ばかりではなく、つらいこともあります。しかし、そのようなことを1つ1つ乗り越えていくことで自分自身が成長できているなあと、この1年の活動を通して僕は実感しました。皆さまの様々なエピソードをお待ちしています。

今回は、55期リーダーと56期リーダーの思いなどを載せたメルマガ特別号を発行する予定です。お楽しみに！

(文責：武藤)

アンケートページ：<http://www.ouwv54.org/enquete/enqform1304.html>

ギャラリーページ：<http://www.ouwv54.org/mailmagazine/gallery1304.html>

メルマガ委員：宮森 由布里、武藤 智太郎